

国営追悼・祈念施設が着工 — 2026年に完成予定 両竹、中浜地区

問 建設課土木管理係 TEL 0240(34)0243

復興祈念公園の中核となる国営追悼・祈念施設の建築工事が4月23日(火)、現地で始まりました。東日本大震災による犠牲者へ追悼を捧げ、復興への意思を発信する場所として、丘や献花広場などが整備されます。2026年春、完成予定です。

国の追悼・祈念施設はすでに宮城県石巻市と岩手県陸前高田市にあり、今回が最後の施設になります。

23日に安全祈願祭が行われ、山本邦一副町長、平本佳司議長らが参加しました。

《施設概要》

- 建築延べ床面積
約1,937㎡
- 標高
約16.5m (津波痕跡高と同じ)
- 階数
地下2階 地上1階



福島県復興祈念公園の完成イメージ(国土交通省東北国営公園事務所提供)。中心にあるのが「追悼と鎮魂の丘」。



式典の様子

サバ陸上養殖施設が完成 — かもめミライ水産、来春の出荷目標

問 産業振興課産業創出係 TEL 0240(34)0248



養殖棟で挨拶する大澤社長(左)と、吉田町長(右)

かもめミライ水産株式会社が、浪江町北産業団地に建設していたサバの養殖実証施設「陸上養殖イノベーションセンター」が完成。4月23日(火)、関係者向けの事業計画説明会と内覧会が開かれました。大澤公伸社長からは、養殖マサバのブランドを「福の鯖」と銘打ち、来春の出荷を目指すことを発表するとともに「東日本の皆さんに生食用サバを提供し、新たな価値を作りたい。そして、持続可能な水産業を確立し、浪江の新たな特産品として復興に貢献したい」と述べました。吉田町長からは、浪江町の水産業の発展につながることで、町の新たな特産品ができることへの期待を表しました。



企業版ふるさと納税

- 株式会社白井シーエムビー様(東京都墨田区)より、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付をいただきました。「浪江町に向かう人の流れづくり事業」に活用させていただきます。

問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240

町では、企業版ふるさと納税制度を活用し、地方創生のまちづくりに取り組んでいます。



地方創生応援税制
(企業版ふるさと納税)

トッキュウ浪江営業所が開設

☎ 産業振興課産業創出係 ☎ 0240(34)0248

物流業のトッキュウ（本社 北海道岩見沢市）は、4月6日(土)、浪江町南産業団地に浪江営業所を開設しました。浪江営業所は約1ヘクタールの敷地に鉄骨平屋の物流倉庫（4,125㎡）と事務所が整備され、工藤真也社長は、「浪江の復興、東北の復興に貢献する。関東と東北の中継基地として日本の物流に貢献する場所にしたい」と決意を述べました。吉田町長からは、開所に対する感謝と浜通りの物流強化や地域経済の活性化が進むことの期待を表しました。

《企業概要》

商 号：株式会社トッキュウ

本 社：北海道岩見沢市栗沢町最上498-9

代 表 者：代表取締役社長 工藤 真也

主な事業：輸送関連（一般貨物輸送、食品・雑貨輸送、クレーン作業等）

倉庫関連（保管、荷役、機械設備搬入及び据付工事等）

エネルギー関連（ガソリンスタンド、ローリー灯油配送サービス）

営業拠点：北海道4拠点、本州6拠点（仙台・福島・東京・関東・中部・大阪）



トッキュウ浪江営業所



浪江営業所で施設の説明を受ける吉田町長

浪江町消防団が春季検閲式と幹部辞令交付式

☎ 総務課防災安全係 ☎ 0240(34)0229



約100人が集まった検閲式

4月21日(日)、浪江町防災交流センターにおいて、浪江町消防団春季検閲式が行われました。

3月に完成した防災交流センターにて初めての春季検閲式となったこの日は、全7分団約100人の団員が集合し、通常点検・閲団・分列行進に臨みました。

検閲式では、幹部辞令交付式も行われ、新たに幹部となった団員に辞令が交付されました。

ここからは広告です。